



10月 2階クラスだより



2026. 10

朝夕の風が心地よく、少しずつ秋の深まりを感じる季節になりました。子どもたちは戸外で体を動かしたり、身近な秋の自然に触れたりしながら、のびのびと過ごしています。

運動遊び参観に向けての取り組みも始まりました。友だちと一緒にいる中で「やってみよう」と挑戦する姿や、できるようになったことを嬉しそうに見せてくれる姿も増えてきました。日々の生活の中で楽しみながら体を動かし、「やってみたい」という気持ちを大切に取組んでいきたいと思います。

また、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期です。子どもたちの体調の変化に気を配りながら、元気いっぱい過ごしていきたいと思います。

《 お知らせ 》

★10月 8日(木) 交通安全教室10:00～ Aさんのみ

★11月 5日(木) 七五三参拝 場所：香椎宮

★11月20日(金) 運動遊び参観(本番) 場所：千早グラウンド
27日(金) 予備日

《 おねがい 》

◆衣服、靴下、靴など全ての持ち物への記名をお願いします。
歯ブラシなど、名前の消えかかっているものもあります。
再度、確認をお願いします。

◆引き続き、水筒の持参をお願いします。
コップ付きのもので、常温がおすすめです。



秋といえば・・・読書の秋

2026.10.01

子どもは絵本が大好きです。

保育園でも本棚から好きな絵本を選んで・・・

Aさんは1ページずつめくりながら文字を読んだり、小さい子に一对一で読んであげたり、クラスの前で読んであげることもあります。

Bさんは知っている文字を探しながらゆっくり一人で読んでいます。

Cさんは一人で見たり、絵を見て自分なりにストーリーをつくりながら、友達に読んであげています。

Dさんは一人で見たり、保育士やAさんに「読んでー♪」と言いながら持ってきます。



絵本を読んでいると、子ども自身が知っている動物や昆虫を指さしたり、小さな声で名称を言ったり、簡単にリズム感がある言葉を復唱したりします。何度も見ている絵本では、内容を覚えていて次はどうなるのか言ったり…と一人ひとり様々な楽しみ方で見たり、聞いたりしています。

絵本は、内容の絵もとてもレベルが高く、子どもの美的センスにも、情緒にも、絵本を通してしか得られない好影響があります。子どもの育ちを支えてくれる大切な仲間になってくれます。どんどん読んであげましょう。



そして、文字の獲得の面では、絵本が文字の存在に気づくきっかけとなってくれることがあります。絵本を読んでもらっている時、子どもは耳でお話を聞きながら、絵を見ます。見ている絵の中に、今、聞いている言葉がひらがなとして書き込まれているのですから、無理なく文字に親しめます。

一方で、お父さん、お母さんの読書週間も大切です。紙の新聞、雑誌、書籍を両親が当たり前のように読む、その当たり前を、子どもは自分の当たり前として吸収していきます。

“読書の秋”と言われるように秋は涼しくなり、過ごしやすい時期です。ぜひ、この機会に子どもと一緒に図書館へ行ったり、本屋へ行って好きな絵本やおすすめの絵本など、絵本のことを話してみてもいいでしょうか？
家族みんなで好きな絵本、好きだった絵本を紹介しあうのはどうでしょう。
“本を読む楽しさ”や“読書を愛する心”を伝え合えたら・・・と思います。